



HCアセットマネジメント株式会社  
〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町1-13  
コンベックス神保町  
IP-Phone.050-3539-5013  
Tel.03-5283-1650 Fax.03-5283-1659

<http://www.hcax.com>

2010年9月16日 森本紀行 資産運用コラム

## HCがHCである所以について

---

HCという屋号の謂れって、何ですか。

わかりません。

まさか。

では、答えを変えましょう。秘密です。創業時、駄洒落で、秘密クラブの意味だといっていました、あまり馬鹿馬鹿しいので、やめましたけれども。

秘密にするほど、大切なものなのでしょうか。

いいえ、少しも大切ではありません。だから、秘密にしておいたほうが、何か深い謂れがあるようで、高邁な価値が籠められているようで、いいでしょう。

質問の向きを変えますが、HCというのは、何の略ですか。

何の略でもありません。もともと、日本では、法人名の登記に、英字は使用できなかった。それが、2002年に制度改正があって、英字での登記が可能になりました。当社は、その改正直後に設立したので、新しいもの好きとしては、英字の屋号しかないな、ということで、HCです。

だから、HCは、そのままHCであって、何かの略ということではないのです。ちなみに、片仮名では、「エイチシー」です。「エッチシー」ではありませんので、念のため。

そうはいつでも、適当に英字を選んだのでもないでしょう。もしも、そうなら、「エイチシー」なんて、語感の悪いのは、やめたらよかったですね。

確かに、語感でHCにしたのではない。また、全く適当にHCにしたのでもない。一方で、何かの意味をHCに籠めたともいいたくない。むしろ、多様な意味を籠められるように、HCを選んだといいたい。

企業は成長し、自己変革していきます。というか、成長し、自己変革し続けなければなりません。屋号は、変革を通じて変らない底流の哲学を象徴しつつ、同時に、変革を通じて新しい意味を付与できる

ような、そのようなものであってほしい。HC が何であるか、よりも、HC が何であり得るか、何であるべきか、のほうが必要な経営課題だと思います。

では、HC は何であるべきなのでしょう。

一つには、ヒューマン・キャピタル(human capital)です。人的資本です。これには、二つの意味があります。

第一に、当社の運用資産の大半が、企業の年金退職金資産であるということです。企業の年金退職金資産に対応する負債は、会計上は、長期負債なのですが、実質的意味は、資本性のある、まさに人的資本なのだと考えているのです。

実は、10 年ほど前、私は、企業の処遇制度の金融工学的解析と、それに基づく新しい処遇理論の構築に、熱心に取り組んでおりました。そして、その解析の方法を、ヒューマン・キャピタル・アカウントイング(Human Capital Accounting)と命名しました。HCA です。

HCA の理論の中で、中核的な概念は、命名の由来となったヒューマン・キャピタルとしての年金退職金なのです。私にとって、企業の年金退職金は、企業の競争力と成長力を規定する人的資本の厚みを意味します。だから、その年金資産の運用に参画でき、運用の付加価値を通じて制度の安定的持続に貢献できるとしたら、私にとって、二重の喜びがあるのです。

当時、HCA の理論は、一部の方には高く評価いただきました。その後、当社の立ち上げの中で、お蔵に入れるほかなくなりましたが、いつか、改めて、世に問うてみたいと思っています。

なお、HC アセットマネジメントという会社名を略称すれば、やはり、HCA です。会社設立当時、処遇の科学としての HCA と、屋号の HCA を重ね合わせたのは、事実です。ですから、当時は、HC よりも、HCA を使っておりました。

ところで、普通の人にとって、もしもHCAになじみがあるとしたら、それは、おそらくは、ハイドロキシクエン酸(Hydroxycitric Acid)でしょう。これ、ガルシニアカンボジア(garcinia cambogia)という植物から抽出する成分で、栄養補助食品になっています。ダイエットに効くとか、持久力を高めるとか、そんな効果があるようです。しなやかな持久力、いい感じでしょう。

もう一つのヒューマン・キャピタルの意味は何でしょうか

当社の運用方法は、多種多様にあり得る投資対象と投資戦略の中から、価値あるものを選択して組み合わせること、および、選択された各領域において、最適な専門の運用会社を選んで運用を任せること、この二つに特化しています。つまり、戦略の配分はするけれども、個別具体的な投資対象の選択は、それぞれの専門領域の一番いい(と、当社が信じる)運用会社に委ねているのです。

運用会社の選択に際して決定的に重要なのは、もちろん、人材です。当社では、個別資産に投資するというよりも、個別資産に投資する人材に投資するような格好になる。まさに、ヒューマン・キャピタルとしての人材への投資、これが、第二のヒューマン・キャピタルの意味です。

だとすると、ヒューマン・キャピタルというのは、どちらかというと、変革を通じて変らない要素のようですね。今後の展開として、HC に新たな意味を付与していくとしたら、どのようなものなのでしょう。

HCA を使っていたとき、ある人が、help clients accumulate 即ち、顧客の資産の増殖を支援する、という意味を提案してくれました。なかなか、いいでしょう。でも、これも、どちらかというと、資産運用会社としての変り得ない基本哲学ですね。

将来、HC に籠める意義を拡張していくとすると、Hは、ヒューマニティ(humanity)、即ち、人間性、慈愛、人文科学などの意味の方向に展開できないものかと考えています。Cは、カルチャー(culture)やコミュニティ(community)の方向でしょうか。

私は、オバマ大統領の就任演説に感心して、二つのコラムを書きました。2009年2月12・19日の「[オバマ大統領就任演説の投資についての意味—格差から平均へ](#)」と、同2月26日・3月5日の「[オバマ大統領就任演説とプロシクリシティの問題](#)」です。資本主義経済に一つの大きな転機がくる、との予感に基づくものです。

もしも、Cを資本主義(キャピタリズム capitalism)とすると、新しいCには、新しい資本主義原理の下で、新しい投資の哲学を象徴する理念を籠めたい。一方、その時、Hに籠めるものは、やはり、方向性として、ヒューマニティや誠実・正直(オネスティ honesty)なのではないかと思うのですが。

以上